

交流の架け橋

馬木幼児園 渡り廊下完成

今年四月に開園した馬木幼児園の渡り廊下が完成し、七月二日、渡り初め式が行なわれました。

はじめに、井上町長ほか来賓二名と園児代表三名によってテープカットが行なわれ、続いて出席者約百人が、旧幼稚園側から旧保育所までの全長約七十メートル、外の景色などを楽しみながら渡りました。

式典では、六戸理事長から「将来を担う子供たちが健康やかに成長できるよう、心ひと



外の景色を楽しみながら渡り初め

つにして努力したい」とあいさつ。

さらに、井上町長から「幼児教育の架け橋となり、これから地域とともに発展することを願います」とあいさつがありました。

また、馬木の豊かな自然が織り込まれ、子どもたちに語りかける歌詞で、新しく出来たばかりの「馬木幼児園の歌」を園児全員で元気いっぱいに歌い、式典に彩を添えました。アトラクションでは、五歳



完成した渡り廊下

児らのおん組の園児十四人による銭太鼓や地元の乙女会との合同演奏も行なわれ、地域の方とともに完成を祝いました。

渡り廊下の窓からは、吾妻山からの朝日が差し込み、隣接する馬木小学校の授業風景も垣間見ることができ、現在放課後児童クラブとの異年齢交流も盛んに行なわれています。

今後、この渡り廊下が、様々な交流や活動の架け橋として有効に活用されます。

郷土の発展と観光振興に寄与

ふるさと庭園「望ヶ丘」完成

亀嵩地区、国道四三二号沿いの久比須地内に、ふるさと庭園「望ヶ丘」が完成し、七月十一日、関係者や地元住民など約百人が出席して、竣工式が行なわれました。



完成したふるさと庭園「望ヶ丘」

庭園を造ったのは、亀嵩出身の若槻一夫さん（広島市在住）で、ふるさとへの恩返しにと、三年前から私財を投じて整備されました。

庭園は、約三千三百㎡の広さがあり、四種類のツツジ約千二百本やリンゴの木約六十本などが植栽されています。

また、頂上には玉峰山を正面に望む展望台が2箇所あり、二十体の彫刻や休憩できる東



あいさつをする若槻一夫さん

屋、屋外ベンチなどが設置されています。

若槻さんはこれまでも、町内小中学校への教育用品の寄附をはじめ、町への福祉寄附、奥出雲町初のふるさと納税、ご当地演歌「忘れないうで奥出雲」の制作など、町の振興に大きく寄与されています。

若槻さんは「この庭園が多くの方の町民の方に愛され、親しまれる憩いの場となるよう、これからも庭園の整備に努めたい」とあいさつがありました。

新しい奥出雲町選挙管理委員会委員が決まりました

奥出雲町選挙管理委員会委員の任期満了に伴い、永年お世話になった四人の委員の皆さんが退任され、奥出雲町議会において、新しく四名の委員が選出されました。

- 退任された委員のみなさん**
- ・卯木 晃哲さん（上阿井） 十二年八月
 - ・田中 久利さん（大馬木） 十七年五月
 - ・荒木 典儀さん（八川） 二十一年八月
 - ・石原 幸徳さん（高田） 四年八月

新しい委員のみなさん

- ・委員長 糸原 健二さん（三沢）
 - ・職務代理者 長澤 嘉昭さん（竹崎）
 - ・委員 重栖 保久さん（亀嵩）
 - ・委員 植田 生夫さん（下横田）
- 任期は平成二十一年六月二十三日から平成二十五年六月二十二日までの四年間です。よろしく願います。



井上町長から感謝状を贈呈

国際舞台での活躍を期待

横田高校からホッケー女子日本代表に二名が選出

七月十八日から二十六日まで、中国上海で開催される、第二回女子U18アジアカップ2009「兼」ユースオリンピック2010年アジア予選大会」の日本代表に、横田高校三年の牛尾朱里さん、早戸沙希さんが選ばれました。

七月九日には、横田高校で激励式があり、井上町長から「万全の体調で大会に参加され、活躍を期待しています」とあいさつがあり、激励金が



健闘を祈り町から激励金を交付
牛尾朱里さん（右）、早戸沙希さん（左）

手渡されました。

これを受けて、両選手から「アジアのトップ選手たちと戦える良いチャンス。自分の力を出しきり、日本代表としての誇りを持ってプレーしたい」とあいさつがありました。

なお六月には、同校出身で山梨学院大学三年の岩田卓也さんが、シンガポールで行なわれた2009男子ジュニアワールドカップ大会に出場し活躍しました。

奥出雲町国際交流協会 哀愁の響き・ ツインバロン演奏会



斉藤さんのツインバロン演奏に聴き入る出席者

六月二十六日、奥出雲町国際交流協会主催による、「哀愁の響き・ハンガリーのツインバロン」がカルチャープラザ仁多で開催されました。

参加者は、アジアで唯一、指導者の資格を持ち、世界の演奏会で活躍するツインバロン奏者の斉藤浩さんによる、幻想的でダイナミックな演奏を楽しみました。

ツインバロンは、ハンガリーの伝統的な打弦楽器で、台形の木箱（重さ約百キロ）に、百三十三本の金属の弦を横に張り、細いパチで弦を打ち鳴らす楽器。

この日の演奏会では、三十年前にツインバロン曲として

日本で初めて紹介されたG・アラガのコンサートエチュード「嵐」や日本の「さくらさくら」などが披露されました。

また、斉藤さんが留学中に撮った写真の紹介や、自らが調理指導したハンガリーの家庭料理「グヤーシユ」と呼ばれるスープが振る舞われ、出席した会員約三十人は、演奏を堪能しながら、ハンガリーの歴史や食文化にも触れました。

なお、演奏会に先立ち行なわれた、同協会の総会において、永年会長を務められた景山明彦（三沢）さんが退任され、新しく藤原弘道（三成）さんが会長に就任されました。